



チーム 新課程 学年主任

Supported by
ベネッセ文教総研

7月

8月

のポイント

本コーナーはハイスクールオンラインの〈先生SNS〉のコーナーと連動しています。〈先生SNS〉では詳細の情報・資料をご提供しています。また、先生方が直面される課題やその解決方法の共有の場としてもぜひご利用ください。

ハイスクールオンライン 〈先生SNS〉

<https://teacher.benesse.ne.jp/>



※ハイスクールオンラインのIDをお持ちでない先生は、校内でご確認いただくか、WEBサポートデスク0120-350124までご連絡ください。

【受付時間】
月～金 8:00～18:00 / 土 8:00～17:00
(祝日、年末・年始を除く)

ここからお入りください

ほかの先生に相談したい時は⇒相談室へ
使える資料で負担軽減⇒資料室へ



学年団で新課程1期生の姿を見取り、2学期の準備へ

例年、7・8月は、ここまでの振り返りと9月以降の準備の時期と位置づけられていると思います。新課程初年度学年として、特に次の2点について学年団全体で振り返り、必要に応じて今後の指導方針を再検討いただけたらと思います。

●中高接続

- 中学校でこれまでと異なる学習経験を積んできた生徒に対しての初期指導が適切に行えたか(学習方法、ICT活用含む)。
- 1学期の学習内容のつまずきや、中学校の学習内容の学び直しの対応の必要はないか。
- 学び直しが必要な場合、教科間で学習量を共有・調整しながら、夏季休業中の課題や補習等で対応したか(学習量)。

●「探究」と進路

- 「総合的な探究の時間」(または

「理数探究基礎」「理数探究」の指導計画と進路指導スケジュールを連携させて立案できているか。

コロナ禍で、生徒たちの中学時の体験の幅は非常に狭くなっており、自身の進路や探究していきたいテーマを考える材料の蓄積が不足しているとお聞きします。

そのような中で、「探究」のテーマを考える流れと進路を考える流れを連携させ、効果的かつ効果的に指導する高校が増えていきます。オープンキャンパスやインターンシップ・職場訪問等への積極的な参加を促し、体験・見聞の幅を広げることは、探究したいテーマと自身の進路とをつなげるきっかけとなります。

そのためにも、7月の面談のテーマとして、「探究」と進路を合わせて扱うことで、生徒への意識づけを行うことができます。

7・8月のチェックポイント

数か月先を見通した新課程初年度学年ならではのポイントです。詳細はハイスクールオンライン〈先生SNS〉をご覧ください。

8月	7月
<p>□ 7月面談の工夫</p> <p>□ 「ベネッセ総合学力テスト」を活用した指導</p> <p>□ 1学期を終えての振り返り</p> <p>□ 夏季休業中の過ごし方</p> <p>□ 夏季休業中の探究のヒント</p> <p>□ 1学期の振り返りと2学期の準備</p> <p>□ 2学期以降の行事の計画</p> <p>□ 教科指導方法の検討</p>	<p>□ 1学期の生徒の姿と面談の工夫ポイント</p> <p>□ 「ベネッセ総合学力テスト」前後の指導(目標、計画、勉強方法)</p> <p>□ 学力の実態把握(答案確認)</p> <p>□ 思考力問題の解答状況を確認</p> <p>□ 1学期を終えて、2学期に向けての振り返り</p> <p>□ 学習履歴の蓄積とフィードバック方法</p> <p>□ ICT端末を活用した、生徒の学習習慣、生活習慣、生徒のモチベーションを上げる実践例</p> <p>□ 2学期以降の探究活動を描く</p> <p>□ オープンキャンパスやインターンシップ・職場訪問を活用した探究など</p> <p>□ 学年団運営の振り返りの指標</p> <p>□ 行事の位置づけと資質・能力の育成の計画</p> <p>□ 「歴史総合」から「日本史探究」、「世界史探究」への展開など</p>

チームの仲間へmessage

新たな学校体制の中で
「探究」と「進路」がつながる学年にたがわかずふみ
田川和史

大阪府・私立大阪信愛学院高校 第1学年主任

新課程の教科書は、どの教科もICTの活用を前提として作られている面が見られます。本校では1人1台端末を導入していますが、我々の学年が新教科書でのICTの活用法を生み出し、次の学年につなげていくことが大切だと考えています。とは言え、授業でのICT活用の必然性と教師の活用スキルは様々です。学年主任としては、まずは全員ができることを大切に、生徒全員がマナビジョンを活用し、1学年団の担任全員がハイスクールオンラインを活用することから始め、少しずつ活用の幅を広げていくことにしています。

実は本校では、今年度、「共学化」というさらに大きな変化に向き合っています。これまでは近畿圏の自宅から通える大学が生徒たちの主な志望校でした。しかし今後は、男女ともに国公立大学も含めて地域的にも進路の選択肢の幅が広がっていくと考えられます。そこで、「探究」と「進路」の連携を大切にしたいと考えています。本校では数年前から「新しい探究プログラム」に取り組み、軌道に乗ってきたところですが、探究してきたことと生徒自身の進路とが結びついていないのが現状です。共学化と新課程が同時にやってきたことを機に、生徒自身がやりたいことを見つけ、自分の可能性を広げるような「探究+進路」を実現したいと思います。

今回、学年主任を務めるのは2回目ですが、新課程の影響が、いつ、どこで、どのように出てくるのか、なかなか想定困難なところがあります。どの学校の1学年主任の先生も、教師としてのキャリアにかかわらず、同じラインに立っていると言えます。分からないことは分からないと割り切って、校内はもちろん、学校を超えて情報交換・意見交換を行い、この新課程がよりよい生徒の成長となって実を結ぶようにできたらと思います。

〈先生SNS〉

ウェブ
セミナーの
お知らせ全国学力分析と
2学期に役立つ
実践をご紹介します

「チーム新課程学年主任」では、4月2日(土)に、新課程の入り口である「中高接続」、出口である「新課程入試」、そしてそれらをつなぐ「3年間の指導ストーリー」というテーマで

ウェブセミナーを開催しました。学年がスタートしたばかりのお忙しい時期にもかかわらず、多くの先生方にご参加いただきました。ありがとうございました。このウェブセミナーでご紹介した資料は、ハイスクールオンラインの「先生SNS」でご提供しています。ぜひご覧ください。

7月22日(金)には、第2回となる1学年主任先生対象のウェブセミナーを、下記の概要にて実施します。今回のウェブセミナーでは、各校での新課程初年度1学期の振り返りにお役立ていただけるよう、1学

期に実施された「スタディーサポート」や「進路マップ」の全国的な傾向の分析結果をご報告いたします。併せて、高校での実践事例に基づいて1学期を振り返り、2学期以降に生かせるポイントをご紹介します。

「総合的な探究の時間」を始めてみて顕在化した課題、新学習指導要領に基づいた「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改革に関する課題等を感じていらっしゃる学年主任の先生、そして、新課程初年度の指導を継続的に改善していきたいとお考えの先生は、ぜひご出席ください。

第2回

「チーム新課程学年主任ウェブセミナー」

開催日時

2022年7月22日(金) 15:30～17:00
Zoomによるオンライン配信

テーマ

新課程1期生の1学期の姿を可視化し、2学期以降の学年団運営の工夫に生かす

概要

- 1 スタディーサポート、進路マップの全体傾向に見る新課程生の姿と指導
- 2 生徒の可能性を引き出す進路選択の仕かけづくり
- 3 生徒の成長を促す学年運営の振り返り

お申し込み方法

下記のURLを入力いただくか、2次元コードを読み取って、お申し込みフォームを開き、必要事項を入力してください。

<https://benesse-hs.jp/ctypd>



申し込み締め切り

2022年7月15日(金) 15:00